



所沢市議会議員

おぎの やすお

荻野泰男 市政レポート Vol.18

Jan, 2011



第5次所沢市総合計画は一部修正により可決

所沢市議会の平成22年第4回定例会は、11月29日から12月27日まで開催され、平成23年度から30年度までの8年を計画期間とする「第5次所沢市総合計画」を中心に審議が行われました。審議に当たっては、議長を除く全議員が参加した特別委員会が設置されましたが、一部修正案については全会一致、修正部分を除く原案については賛成多数で可決されました。なお、一般会計補正予算、まちづくりセンター条例、景観条例等その他の主な議案の概要については、下記をご参照ください。

【主な議案の概要について】

● 平成22年度所沢市一般会計補正予算

○ 用地購入事業・土地開発公社買戻分 (約10億9千円)

当初予算に計上されていなかった普通交付税を財源に東部クリーンセンター等8箇所分の繰上償還を行うもの。

○ 生活保護扶助事業 (約6億3200万円)・・・生活保護世帯

の著しい増加によるもの(今年度末見込みは、2948世帯)。

● 市職員の給与等に関する条例等の一部改正

人事院勧告を受け、給与・期末手当等を引下げるもの。影響額は、合計で約2億4千万円(1人当り、約9万4千円)。

● 所沢市まちづくりセンター条例の制定・・・本年4月より

出張所機能と公民館の生涯学習機能にコミュニティ推進機能を加えた「まちづくりセンター」を全地区に整備する。

● 所沢市ひと・まち・みどりの景観条例の制定

良好な景観形成の実現を目指して制定。本年7月施行。

● 「第5次総合計画」の策定について

○ 平成23年度からの所沢市における総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想、および基本構想を実現するための施策体系や方針、主要事業などを定める前期基本計画について策定するもの。第4次計画では、計画期間が10年とされていたが、急激な社会情勢の変化に対応しやすく、市長任期にも沿ったものとするため、本計画より期間は8年間となった。

○ 平成21年3月定例会において、議会の議決すべき事件を定める条例が制定されたことを受け、基本構想のみならず、基本計画についても議会の議決事件となり、今定例会の特別委員会および各分科会による審査が3日間にわたり、集中的に行われた。

○ 基本構想では、「所沢発 みどりと笑顔にあふれる自立都市」を将来都市像に掲げ、地域コミュニティの醸成、所沢ブランドの創造と地域経済の活性化など4項目を総合的に取り組む重点課題としている。

次回定例会は、2月22日(火)からの予定です。

自宅事務所 04-2949-6735 E-mail tokorozawa@oginoyasuo.com

議会事務局 04-2998-9256 ホームページ <http://www.oginoyasuo.com/>





荻野泰男の一般質問（抜粋）



【自動販売機業者を公募し、財源の確保を！】

荻野泰男・・・市有施設内の自動販売機設置に関しては、新たな自主財源の確保の面だけでなく、設置業者の公平性等も考慮し、公募制の導入は必須のことであると考えている。本市においてもまずは試行的にでも公募制を導入すべきではないか？

当摩市長・・・今後新しい施設等に自動販売機が設置される際、



公募による入札が可能なお場合には実施できるよう関係各課に指示していきたいと考えている。

荻野泰男・・・本年度、本市から(株)資生堂に派遣されている職員がいるが、その意義や成果についての認識は？ 来年度以降も派遣研修を継続すべきであると考えているが、市の見解は？

笹原総合政策部長・・・当該職員は派遣先において、採用・研修担当として業務に従事している。民間企業の経営手法や人材育成制度について学ぶことは当該職員はもとより、本市にとっても有意義なものと考えている。来年度以降も派遣研修を実施する方向で先方の会社と調整しているところである。

【民間企業との人事交流のさらなる推進を！】

【一流シェフを招いた“スーパー給食”の実施検討を！】

荻野泰男・・・(1)学校給食における地元農産物の利用率と残菜率との相関関係についての認識は？ 食育の観点から、生産者との交流を図ることは有意義ではないか？ (2)一流のシェフが給食予算内で地元農産物等を取り入れたメニューを作成・調理し、児童生徒との交流活動を行う「スーパー給食」の実施を本市でも検討してはどうか？ **内野学校教育部長**

・・・(1)地場産野菜を使用することで、子どもたちが生産者の顔を意識し、残食が減る効果



はあると思う。生産者との交流は農業や食に対する知識を身につける上で大変意義がある。(2)「スーパー給食」については、すでに実施した他市の状況や効果等を調査してみたい。

古川参議院議員からのメッセージ

荻野泰男議員とは、若手改革派の仲間として大変親しくさせて頂いております。荻野議員には、海外経験に基づいた広い視点から、新しい時代の日本の地方自治を創って頂いて頂けるものと思います。ともに頑張りましょう！



古川俊治さん(参議院議員)

地域の皆様のご協力ありがとうございました！



大日堂交差点近くにカーブミラーが設置されました。

三ヶ島2丁目にて



市道の修繕が行われました。

林2丁目にて

※ご意見・ご要望などをFAXでご返送ください
⇒ 04-2949-7929

お名前	
ふりがな	
ご住所	
(〒359-)	
所沢市	
ご連絡先	
TEL(O4)	—
E-mail	
ご意見・ご要望を、是非お寄せください！	

プロフィール

- 1970(昭和45)年2月3日、所沢市生まれ。40歳。 ●所属政党・・・無所属。
- 1993年、早稲田大学政治経済学部経済学科卒業。
- 社会保険労務士。ファイナンシャル・プランナー(CFP認定者)。
- NPO法人「田中秀征の民権塾」塾生。
- 2007年4月、所沢市議会議員選挙にて初当選。 ●所属党派・・・市民クラブ。
- 建設水道常任委員会副委員長。 ●議会運営委員会委員。
- 発行元/荻野泰男事務所 〒359-1166 所沢市糞谷1746-1 TEL 04-2949-6735 FAX 04-2949-7929